

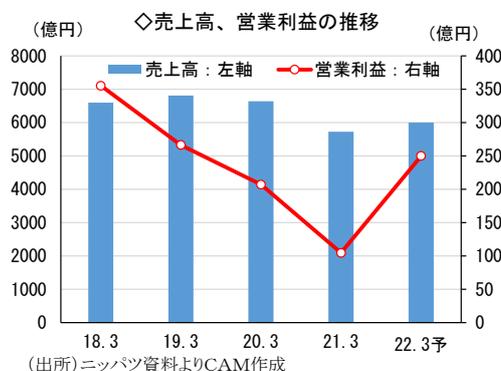
企業ニュース ニッパツ

(東証1部：5991) <https://www.nhkspg.co.jp/>

作成者：奥村義弘

E V向けや半導体プロセス向け製品への期待高まる

1939年創立。乗用車用のコイルばね、商用車の懸架装置に採用される板ばねやスタビライザ（走行安定装置）、HDD駆動用サスペンションなどを手掛ける。22.3期・第2四半期累計の売上高構成比は懸架ばね19%、シート35%、精密部品28%、産業機器ほか18%。24.3期までの中計では最終年度に売上高6,500億円、営業利益400億円、ROE8.0%などの目標を掲げる。精密部品では電動車の拡販によるモーターコアの成長、産業機器では好調な半導体市況を受けた半導体製造工程で使用されるエッチング装置やCVD装置向けのプロセス部品（シャワーヘッド、ヒーター、冷却板など）の拡販などに関心が集まっている。



業績は回復傾向、E V関連としても存在感

22.3期の通期会社計画は、売上高が6,000億円、営業利益が250億円、前期比139%増。懸架ばねやシートなど自動車関連は半導体供給不足影響による自動車生産台数の減少影響に加え、原材料価格や物流コスト高騰の影響を受ける。下期はアジアや米欧での一定程度の回復は見込むが、減益を見込む。一方、精密部品はHDD関連部品など情報通信関連製品の受注が好調に推移すると見られ、増収増益を見込む。産業機器ほかでは半導体プロセス部品やゴルフシャフト、マリンプログラクトなどの非自動車関連の受注が好調で、増収増益の見通し。

来期は自動車関連は、商用車に使われる板ばね、スタビライザなどの販売回復が期待できよう。また日系メーカーのE V新型車が続々投入される点にも注目できよう。モーターコアは同社の主要取引先である日産自以外のメーカーへの拡販が期待される。精密部品ではデータセンター向けのニアラインHDD（低価格・大容量・高信頼と、性能を高めたHDD製品）がサスペンションの搭載個数増をけん引しており、同社の業績伸長に寄与しよう。

[株価動向・投資判断]

自動車の生産回復は追い風となろう。株価はE V関連部品への期待の高まりもあり中間決算後上昇したが、PBRが依然1倍を大きく割り込むなど株価指標には割安感がある。

<5991 ニッパツ 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	664,499 (▲2)	20,715 (▲22)	21,266 (▲32)	4,612 (▲35)	19.5	17.00
21.3	572,639 (▲14)	10,463 (▲49)	14,533 (▲32)	9,396 (▲104)	40.5	17.00
22.3 予	600,000 (—)	25,000 (▲139)	27,000 (▲86)	18,000 (▲92)	78.9	24.00

(注)「収益認識に関する会計基準」等を22.3期・第1四半期より適用しているため、22.3期・予の売上高の伸び率は「—」表示



[主要株価指標] (売買単位：100株)	
株価 (2022/1/7)	982 円
昨年来高値 (高値日)	1,063 円 (21/12/14)
同 安値 (安値日)	683 円 (21/1/4)
予想 P E R (22.3 予)	12.4 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	1,295.0 円
P B R	0.76 倍
予想配当利回り	2.44 %
(1株当たり配当金年24.00円)	
R O E (21.3)	3.4 %
発行済み株式数	24,407 万株